

エコプロ2025 学習活動実践レポート

古河市立三和北中学校

エコプロについて



〈事前調べ〉

健康やジェンダー平等、森林や海の豊かさなどの環境について調べた。

〈分かったこと・思ったこと〉

エコプロでは様々な企業 / 団体があり、特に **UACJ** で様々なことを学びました。アルミニウムにはあまり種類はないと思ったけど、発表を聞いてアルミニウムにはそんなに種類があったんだと思いました。しかもアルミニウムがたくさんの身近なものに使われていてアルミニウムに支えられているとわかりました。アルミニウムに特徴があり、アルミニウムは軽くて、強くリサイクルをすることで CO₂ を減らせるのです。だからアルミニウムは地球にとって環境にいい素材でみんなの暮らしを支えているんだなと思いました。

〈自分にできること〉

これからはリサイクルできるものや、CO₂ を減らす取り組みなど自分で、できそうなことをしていこうと思った。

SDGsへの取り組み(エコプロ前)

- 節電・節水
- 食べ残しを減らす
- 再生可能エネルギーを使う
- マイバッグを使用する

①事前調べ

事前調べでは自分が大切にしたい目標を3つ選びました。選ぶときに17つのゴールについて目を通しましたが、どのゴールも大切に世界中には私達ができている当たり前なこと（食事や生活、教育など）ができない人も多いことがわかりました。その中でも大切だと思ったものは2,6,16の目標です。2は「飢餓をゼロに」これは絶対に必要なことです。食べ物がないと生きていけません。私もエコプロで学んだことの自分が今できることを実行し、少しでもゴールに近づくようにしたいです。6は「安全な水とトイレを世界中に」これも2番と同じくらい大切です。水不足で苦しむ人もいるし、水の中で生活する生物もいるので安全な水で生活ができるようにしたいです。16は「平和と公正をすべての人に」暴力から起きる自殺やちょっとした暴力も減らしたいと思ったからです。

NGP



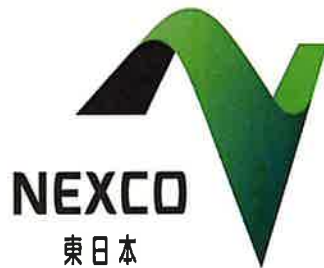
☆サーキュラーエコノミー



☆金属以外のリサイクル

NEXCO東日本

あなたに、ベスト・ウェイ。



☆ビオトープの設置

⇒いろいろな生き物が
暮らせる場所づくり

☆スイスイ走れる高速道路

⇒止まる回数が少ない
のでCO₂削減になる

びっくりドンキー



☆お米の仕入れ

⇒生き物調査

生物多様性を目指している！

☆食品ロスの削減

⇒「mottECO」



環境省が
提唱する
取り組み！

びっくりドンキー

生き物に優しい米作り

- ・ たくさんの生き物がつながり、支え合っていること
植物多様性
- ・ カエルやヤゴ、オタマジャクシ、アメンボなどさまざま
→生き物の力を借りてバランスをとっている



食品ロスをへらす

- ・ サイズを選べる。食べ切れる量を選んで無駄が減る
- ・ 2回完食するとアイスが無料でもらえる。(もぐチャレ)
- ・ お持ち帰りができる容器
→それでも残ってしまったものは肥料などにする



日本有機資源協会

地球の周りにある温室効果ガスによって過ごしやすい温度になっている
しかし、増えすぎてしまうと地球の温度が上がりすぎてしまう

CO₂を減らすためには？

化石資源を燃やすとCO₂が出る

→植物や生物などの材料の**バイオマスの活用**

バイオマスは燃やすとCO₂が出るけれど出したCO₂とほぼおなじくらい
の量を吸収する...CO₂を増やさない

バイオマスマーク のついている商品は生物資源を材料に使っている商品に
つけられる。

バイオマスマークのついている商品をつかって行こうと思う



バイオマスマーク

1. 明治

カカオが外国で育てられていることは知っていましたが、収穫されたから日本に届くまでの工程に労働と時間が多くかかっていることを知りました。例えば、収穫です。私は、機械を使っていると思っていましたが、実際には1つ1つ手で収穫されていることがわかりました。さらに、カカオは木で育てられるので森林を守る必要があると明治さんのブースを見学して考えました。（SDGs15）

「チョコレート」以外にカカオは次のようなものを作ることができる！

- ①保湿性の高い「カカオセラミド」という美容用品
- ②カカオバイオプラスチック
- ③おもちゃ（プラレール）

カカオバイオプラスチックは、明治の商品シリーズの「手作り作ろう！きのこの山」の型として使われているそうです。

【インタビューしたこと】

(明治) チョコとSDGsはどのような関係があるのか

⇒⑮陸の豊かさを守ろう

(自動車リサイクル) 車の環境問題について

⇒リサイクルすることによってSDGs 目標達成

(牛乳パック) パックのリサイクルの仕方

⇒洗う→乾かす→リサイクル

(省資源宣言) エコについて

⇒昔と今の食品エコ

(APP) 火災について

⇒消防団体や募金活動、ティッシュ配布などでSDGs 目標達成

(KOBERRUKO) 水素について

⇒科学でSDGs 目標達成

(三菱) 科学とSDGs の関係について

⇒インフラの歩みを未来へつなぐ

(NGP) 車のリサイクルについて

⇒使い終わったら再利用新しい資源を必要としないこと



③インタビューしたこと

「活かせそうな考え方」

私はブースで付箋にアンケートを取って貼ってある壁を見つけました。付箋は「家で取り組んでいること」についての内容が書かれていてそこで私はたくさんの方の考え方を発見しました。例えば、照明を買うときは省エネのものを買ったり、食材別の保存方法を調べるなどいろいろな人の考えを見て私ができるエコなことは増えたし、意識しようと思いました。

「働くこと」とは

働くことについての質問はしていませんでしたが、SDGSに関わる仕事をしている人はお金を稼ぐためよりも、より良い社会にするためという思いが強いと思いました。色々なブースを回ったけど、どの人もわかりやすい説明で「～だからこうなる」、「これを～することで～なる」とかクイズを用いて私達に伝えようとしていて良い社会にするために頑張っているんだと思えました。

②体験したり話を聞いてわかったこと

エコプロを通して環境、SDGsについて学ぶことができた。

水をめぐる大冒険では水は一日で**2Lペットボトル112本分**使っていることがわかった。なのでもっと水を使いすぎず節水したり水を大切にしていきたい。

びっくりドンキーでは生き物にも優しい米づくり、**食品ロス減少**を目標としていることがわかった。なのでこれからは自分が食べ切れる量のご飯を作ったり頼んだりして少しでも食品ロスをなくしていく。

日本有機資源協会では二酸化炭素の発生を少しでも防ぐために**バイオマス商品**を進めていることがわかった。なので、買い物をするときなどは、できるだけバイオマスマークがついている商品を買ったり、地球に優しいものを使っていきたい。

②体験したり話を聞いて分かったこと感じたこと

私が一番印象に残ったところは愛知県立芸術大学でした。ここではゴミを埋める埋立地が少なくなっていて近い未来ではなくなってしまうことがわかりました。そして解決するために色々な物を作っていると聞きました。工夫されて作られたジーンズやプラスチックの蓋を土に埋めると1年経てば土に変わるものでした。確かにこのような物なら今の課題もなくなるし、蓋になっていたプラスチックは普通のプラスチックよりも固くて「こっちのほうが使いたいかも」と思いました。エコなものは使いにくいのかなと思っていましたが今回の体験で考えが変わりました。こういったエコなものをもといろいろな人の知ってもらいたいです。他のところでも学んだことはたくさんあります。明治では食べ物をつくっているけど、教育に関係する支援もしていることがわかりました。カカオを通してたくさんの人や生物が支えられていることを学ぶことができました。

【体験を通して思ったこと】

各団体が社会のためにSDGsの取り組みをしていることがわかりました。

小学生や中学生もSDGsの取り組みを行えるように「かるた」や「ビンゴ」などで楽しみながらSDGsの目標達成に工夫して取り組んでいることが知ることができました。

環境や食べ物、リサイクルの仕方など、未来につなぐために世間の人たちは日々努力をしていることがよく伝わって、私も今まで以上にリサイクルや今の環境にエコなことをしようと思えました。



②体験したり話を聞いて思ったこと感じたこと

エコプロを通して企業の人からいろいろなことを学ぶことができた。その中でもSDGsを達成するためにできることは身近なところに多いことに気づいた。SDGsを達成するためにも一人ひとりの取り組みが大切な事がわかった。なので自分ができることを考えて少しでも達成できるように努力したいと思った。

②体験したり話を聞いて、わかったこと・感じたこと

体験して、一つの企業が多くのSDGsの問題について取り組んでいると思った。

そして、SDGsは一つ一つが別々に見えて、関わり合っていることがわかった。例えば、キューピーという企業では、動物性原材料を植物性原材料に変えていた。私は、この事を見てCO₂が少なくなっていて環境に優しいということがわかった。しかしそれだけではないことが、企業の方の話を聞いて分かった。しかし、その他にも、誰でも食べられるという点があった。お肉だと、宗教の関係上食べれない人や、ビーガンの人や、アレルギーの人がいる。しかし、植物性原材料のを使うと関係なくみんなで楽しく食べることができる。そのため、SDGsは関わり合っていることが分かった。そして企業の方の真剣さが伝わってきた。いろいろな企業を周って、話し合ったり・質問を何回もしていたりと、企業に対する熱い思いが見てるだけで伝わってきました。そして、宣伝する側は、宣伝力がすごかったです。通りすぎる私達にも、積極的に声をかけてくれたり、わからないところがあったときには、わかりやすく教えてくれました。そして、実物など・絵を通して私達に知ってほしいという気持ちが伝わってきました。そして、クイズから、授業方式の教え方など、子供から大人のどの世代にもわかるように工夫していました。

体験を通してわかったこと

企業ごとの取り組み

食べ残しや食品ロス

→サイズが選べて、食べ切れるようにしている。「びっくりドンキー」ではもぐチャレといった完食するとアイスが無料でもらえたりと子どもでも全部食べたくなるような取り組み。

再利用

→使えなくなったものなどは新たなものに変えたり、肥料、電気として使い続ける工夫をしている

環境を守るために

→CO2を出さないバイオマスを利用した製品づくり、森林伐採をすることを減らし水をきれいに使い続ける

考えたこと

企業ごとに様々な取り組みを行っているが共通して言えることが、持続可能な開発・SDGsなど地球を守るための活動をしていること

発表していた企業で多かったこと

→再利用

私達の生活の中でも、使えなくなった洋服→雑巾にするなど

今の暮らしが守られるように、より良い暮らしになるように、

- ・私生活でも電気をこまめに消す
 - ・食べ残しをしない
 - ・プラスチック製品を使わない
- などといったことをやることが大切

～エコプロを通して学んだこと～

エコプロを通して学んだことは

エコプロにいったとき、たくさんの企業がありました、いろんな企業に入って細かく説明をしてくれたり体験をさせてくれました。

エコプロにいかないとわからないことを教えてくれてわからないことがわかるよになりました。一つ一ついろんな企業のところで、食べもののことについて学びました。アレルギーの人でも食べれるように牛乳や卵を使わずに食べられるようにしていることも教えてくれました。

普段みんなが飲んでいる水をどうやってきれいにしているのかも教えてくれました、ろ過をしてきれいな水にして消毒をしてみんなが飲んでいる水ができることもわかりました、制服を作る企業の方々から制服の型をどのようにし作っているのかを分かりやすく教えてくれて実際に体験して隙間なく埋めるのがとても難しかったけれど、大変なことがわかりました。

プラスチックのゴミを少なくするために再利用して型取りをして可愛くして飾ることができるということがわかりました

今回のエコプロを通して今後の学校生活に活かしていきたいです。

まとめとSDGsへの取り組み

一度使ったら捨てずに再利用して使う
「サーキュラーエコノミー」を実践してみたい！

竹チップや下水処理から出る下水汚泥を
農業の農薬や肥料として使用している！

多くの企業のSDGsの取り組みや私達ができることについて
多くの人に話して、多くの人で取り組みたい！

まとめとSDGsへの取り組み

学校

- ・節電
- ・節水
- ・衣服での調整
- ・カーテンの開けしめ

家庭

- ・節電
- ・節水
- ・マイバッグの使用
- ・水筒の持参

地域

- ・ゴミ拾い
- ボランティアへの参加
- ・地産地消
- ・ビオトープの設置

まとめ（働くこととは・自分のこれから活かせそうなこと）

働くこととは、未来を作るためにやることでもあると思いました。エコプロを通して、自分のためではなく地球の未来のために真剣に働いている姿は私にはないもので素晴らしいと思いました。

また、私も地球のために電気をこまめに消す、エコバックを使う、水を大切にするなど、小さなことでもやってみようと思います。

この経験から、自分のことだけではなく、人のため、未来のために働けるようになるため、今よりももっと視野を広げて生活していきたいです。

『エコプロ』を通して私の思う「働くこと」とは？

各企業の取り組みや伝えたい思いを
より多くの人に知ってもらい、
興味を持ってもらえるように
分かりやすく伝えること！

